

昭和41年4月1日～昭和51年3月31日生まれの方が対象です。

## 40～49才のつがる市民の皆様 (つがる市胃がん撲滅検診事業)

# 胃がんリスク検診(ABC検診)のお知らせ 費用は無料！自分の胃がんリスクを知ろう

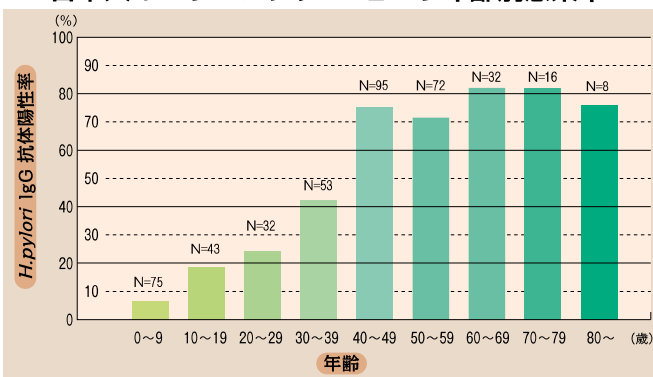
ABC検診とは、ヘリコバクターピロリIgG抗体検査でピロリ菌感染の有無を、ペプシノゲン検査で胃粘膜萎縮度を調べ、その結果を組み合わせることで胃がんリスクをA,B,C,Dの4群に分類して評価する検診です。



		ヘリコバクターピロリIgG抗体検査	
		陰性 10未満(-)	陽性 10以上(+)
ペプシノゲン検査	陰性 (-)	<b>A</b> 	<b>B</b> 
	陽性 (1+) ~ (3+)	<b>D</b> 	<b>C</b> 

- A** 健康的な胃粘膜で、胃疾患の危険性は低いと考えられます。
- B** 消化性潰瘍などに留意する必要があります。
- C** 胃がんの高危険群と考えられます。
- D** 胃がんの、より高危険群と考えられます。

日本人のヘリコバクター・ピロリ年齢別感染率



### 【ヘリコバクターピロリIgG抗体検査】

胃がH.ピロリ菌に感染していないか調べる検査です。H.ピロリ菌は胃粘膜にダメージを与え、さまざまな病気の引きがねになると考えられています。

### 【ペプシノゲン検査】

胃粘膜の老化（萎縮）の状態を調べる検査で、胃がん検診にも応用されています。萎縮が進んだ胃は、胃がんになりやすいといわれています。

## ピロリ菌陽性の方

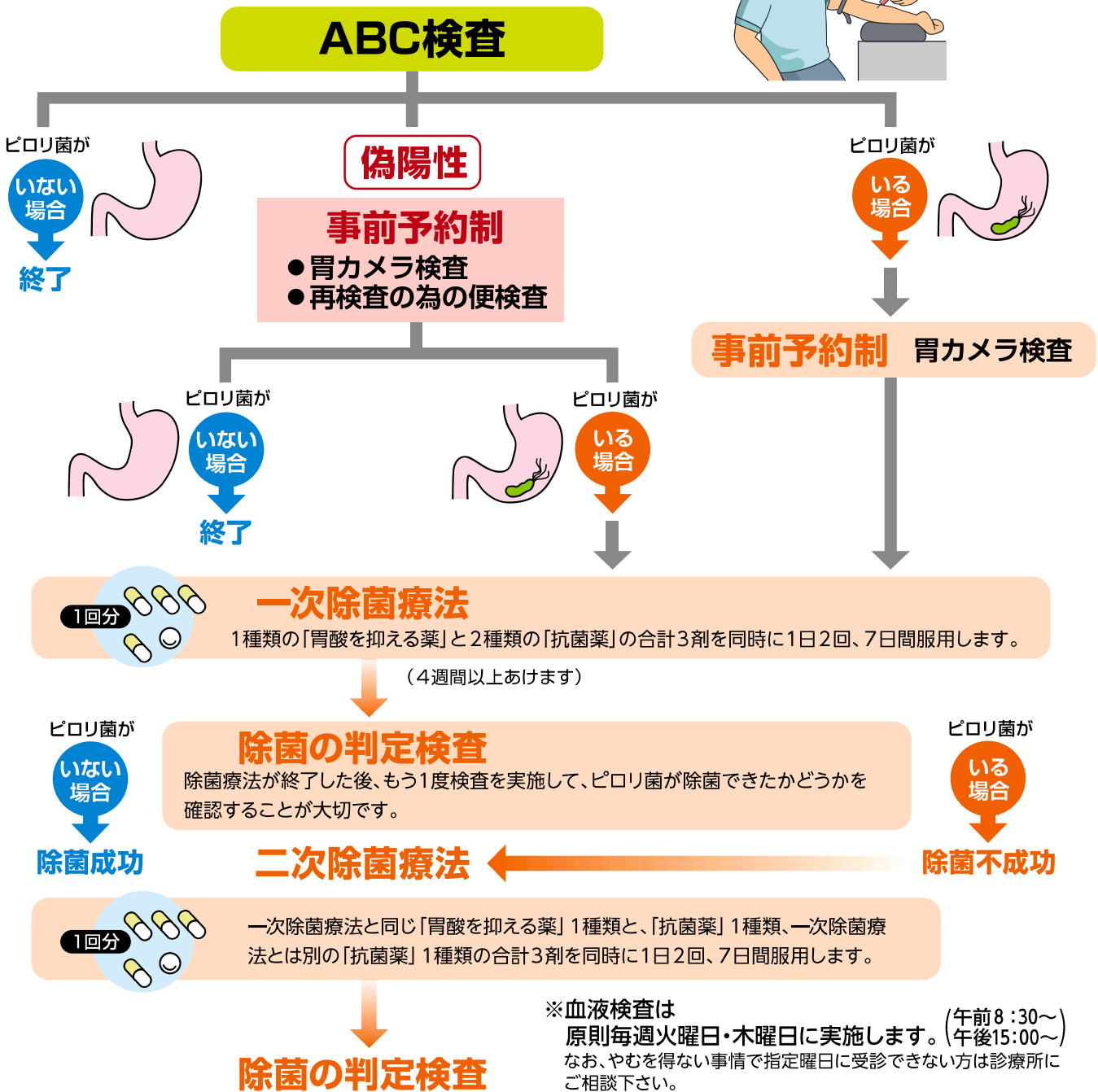
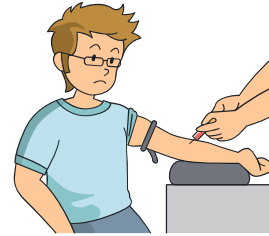
# ヘリコバクター・ピロリ菌除菌費用も無料!!

胃がんはヘリコバクター・ピロリ(ピロリ菌)感染と深く関わっています。ピロリ菌感染がない人は胃がんになることが少なく、ピロリ菌に感染すると慢性胃炎から萎縮性胃炎になり、さらに腸上皮化生という変化が起こってくると胃がんになる危険性が高くなっていくことが知られています。ピロリ除菌により胃がんの予防や感染の防止が期待されるため、ピロリ菌に感染している場合、除菌治療を行います。

市の胃がん検診も定期的に受けましょう。

## ◆事業の流れ

※つがる市民診療所に検査予約をします。



## ◆お申し込み方法

つがる市民診療所へお電話または病院受付窓口で申込み下さい。

**電話 / 42-3111**

### 対象外の方

1. 明らかな上部消化器症状があり、胃や十二指腸の疾患が強く疑われる方(保険適用ですので、消化器内科を受診してください)
2. 食道・胃・十二指腸の疾患で治療中
3. 胃酸分泌抑制薬(プロトンポンプ阻害薬)服用もしくは2ヶ月前以内に服用していた方
4. 胃切除後の方
5. 現在、胃がんを治療中の方
6. ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療を受け、除菌に成功している方

お問合せ先：つがる市健康推進課 ☎ 42-2044